



特集 /

猫と人が共存するまち

問：環境衛生課生活環境係 ☎ 0943-32-1138

町の至るところで見かける「野良猫」。野良猫とは迷子になったり、人間の勝手な都合で捨てられたりして、特定の飼い主がない猫のことです。一見自由なのびのびと生きている野良猫の姿は、猫が好きな人に大きな癒しを与えます。しかし、野良猫による被害に悩まされている人がいることも事実です。

今回の特集では、野良猫が増え続ける原因や、それを防ぐための活動などをご紹介します。

野良猫の問題

広川町では、猫に関する苦情や相談が年々増えており、そのほとんどが野良猫に関するものです。「敷地内でふん尿をされた」「車を傷つけた」「ごみを荒らされた」など多くの苦情が寄せられ、地域の生活環境に関わる問題となっています。

近年では、野良猫への「餌やり問題」も指摘されています。餌の時間やトイレの管理をしない無秩序な餌やりは、野良猫の繁殖やふん尿被害を

招く一方です。

餌やりをやめれば猫がいなくなると思われがちですが、生ごみに殺到したり、家屋に浸入して食料を荒らしたりするといったことも予想されまます。最終的にどこかに行つたとしても、別の場所と同じことが起こるかもしれません。

野良猫の環境

野良猫による被害ばかりに注目されがちですが、野良猫の生き抜く環境はとても過酷なものです。寒さや暑さは猫に多大なストレスを与え、特に子猫は寒さに弱いため、冬を越せずに死んでしまうこともあります。栄養のある食料や新鮮な水を確保することも難しいため、体が弱り、常に細菌などに感染しやすい状態です。猫同士のけんかや発情期の交配だけがや病気をしても、面倒を見てくれる人がいるとは限りません。

そのため、飼い猫の寿命が10年〜20年であるのに対し、野良猫は3年〜5年といわれているほど、長生きすることが難しいのです。



もう一度考えよう！

猫の習性・飼い方マナー

野良猫のお世話をしている人へ

1 置き餌はやめましょう

餌を一日中置いたままにしておくとほかの場所から猫やカラス、虫などが集まり、衛生的にも景観的にもよくありません。決まった場所で決まった時間にあげるようにしてください。時間になったらお皿を片付けて餌場周辺を掃除しましょう。



2 猫用トイレを設置・管理しましょう

猫用トイレを設置し、周辺の環境に気を配ることも大切です。餌場の近くにトイレを設置し、まとめてするように仕向けましょう。猫が用を足したあとはこまめに掃除をしてください。汚れたままにしておくと、トイレを使わなくなってしまいます。

猫の飼い主さんへ

1 最後まで面倒をみましょう

猫が寿命をまっとうするまで、健康に気を配りながら愛情をもって飼うことが飼い主の責任です。どうしても世話ができない場合は、新たな飼い主を探してください。



2 室内で飼いましょう

猫は上下運動ができる空間を整え、不妊・去勢手術をすれば、特に広い生活空間はいりません。室内で飼うことで周囲に迷惑をかけることなく、事故や感染症からも猫を守ることができます。

3 迷子札をつけましょう

猫は登録制度がないため、飼い主が判明しません。飼い猫に迷子札やマイクロチップなどを装着し、飼い主がわかるようにしましょう。

4 不妊・去勢手術をしましょう

責任をもって子どもを産ませるのでなければ、不妊・去勢手術をして過剰繁殖を防ぎましょう。



野良猫が増え続ける理由

元をたどれば、人間の身勝手な飼い方により家を失い、増えてしまったケースが多い野良猫たち。しかし、増え続ける要因は猫の高い繁殖力にもあります。

猫は生まれて4か月で子どもを産めるからだになり、妊娠して2か月で4匹〜6匹の子猫を産みます。多ければ年に3回産むこともあり、その子猫がさらに孫猫を産むと1匹のメス猫が3年後には2000匹以上に増えると環境省は試算しています。

猫の繁殖とその特徴 ①

猫は交尾した刺激で排卵するため、交尾すればほぼ100%の確率で妊娠します。猫は単独行動を好み、普段はオスとメスが別々に暮らすため、少ない交尾で確実に妊娠できる仕組みになっているようです。

猫の繁殖とその特徴 ②

猫は餌がある場所を中心になわばりをつくります。しかし、餌が豊富であれば猫はなわばりをつくらなくなり、普段は別々に暮らすはずのオスとメスが同じ場所で暮らすようになるため、次々と子猫が産まれることとなります。



＼ 野良猫の繁殖を防ぐ！ ／

TNR活動



野良猫の繁殖を食い止め、一代限りで命をまっとうさせ、猫に関する問題や殺処分をなくしていく有効的な手段として今、全国で行われているのが「TNR活動」です。

Trap

捕獲



まず決まった時間・場所に餌を与え、餌付けをしておきます。その後、捕獲器を置いて捕獲。捕獲器を置いている間はその場所を離れません。野良猫が捕獲器に入った後、すぐに捕獲器全体を布で包むことで野良猫は暴れず、落ち着きます。

Neuter

不妊・去勢手術



野良猫の繁殖を防ぐため、捕獲器で捕まえた猫に不妊・去勢手術をします。全身麻酔がかけられているため、猫は痛くありません。手術を終えた猫は、耳の先を桜の花びら型にカットします。この猫のことを「さくらねこ」といいます。

Return

元の場所に戻す



野良猫として暮らしてきた猫を無理やり保護することはストレスとなり、病気の原因にもなりかねません。そのため、不妊・去勢手術後経過観察を経て、もともと住んでいた場所に戻します。

どうして耳の先をカットするの？

耳の先をカットするのは「目印をつけることで捕獲器で何度も捕獲され、麻酔をかけられるのを防ぐため」です。首輪などの目印では取れてしまうことがあるため、耳の先をカットします。「耳の先をカットするなんて痛そう」と感じる人もいるかもしれませんが、猫への負担・痛みは最小限に抑えられています。



©公益財団法人どうぶつ基金

不妊・去勢手術のメリットは？

不妊・去勢手術は、野良猫の不要な繁殖を抑えるだけでなく「猫同士のけんか」「尿のマーキング」「発情期の鳴き声」の軽減などにも効果があります。



オス猫

- 外に出なくなる
- ほかのオス猫とケンカしなくなる
- マーキングがなくなり臭いも軽減
- 繁殖から解放されおだやかに過ごせる



メス猫

- 発情期の鳴き声なくなる
- 繁殖から解放されおだやかに過ごせる
- 妊娠・出産の負担がなく病気しにくい

／ ／ ／ 広川町での TNR 活動

昨年 8 月、広川町で公益財団法人どうぶつ基金の「さくらねこ無料不妊手術事業」を活用した TNR 活動が始まりました。川瀬区・一応区の地域住民と広川町キャットサポーター、(株)九州エヌエフフーズ、鶏笑広川店が協働して、猫の捕獲や一時保護中のお世話、手術会場までの運搬などを実施。この活動により今年 1 月時点で 141 匹の猫が不妊・去勢手術を受けました。



公益財団法人どうぶつ基金

不妊・去勢手術によって野良猫の問題解決や殺処分ゼロを目指す「さくらねこ無料不妊手術事業」を全国で展開。「TNR 地域集中プロジェクト」では、筑後市に病院を開設し、地域のボランティアとともにこれまで 2,898 匹の猫の手術を行いました。今年 4 月からは、みやま市に病院を開設する予定です。



／ ／ ／ 広川町キャットサポーター募集中

広川町では TNR 活動をサポートする「広川町キャットサポーター」を募集しています。興味がある人は、環境衛生課生活環境係（☎0943-32-1138）へお問い合わせください。

【活動内容】

- ・捕獲器の設置、猫の捕獲
- ・一時保護中の猫の餌やり、ペットシート交換
- ・手術会場までの猫の運搬
- ・元の場所へのリリース
- ・捕獲器などの清掃



サポーターの声

私はこれまで、出産を繰り返し体がボロボロになり子宮の病気で苦しむ猫や、カラスにつつかれ大けがをした子猫など、かわいそうな野良猫をたくさん見てきました。依然と殺処分される猫や交通事故で命を落としてしまう猫が多い中、野良猫に不妊・去勢手術を施すことで少しでも不幸な猫を減らすことができればと思い、この活動に協力しています。

今回、数か月にわたって広川町で TNR 活動しましたが、野良猫のお世話をしている人や地域の人たちから多くの「ありがとう」の声を頂き、「もう辛い出産を繰り返さなくて良いね」と猫に声をかける姿がとても印象的でした。飼い主の皆さまには、責任をもって最後まで飼うことをお願いしたいです。

広川町
キャットサポーター
森下 文恵 さん

